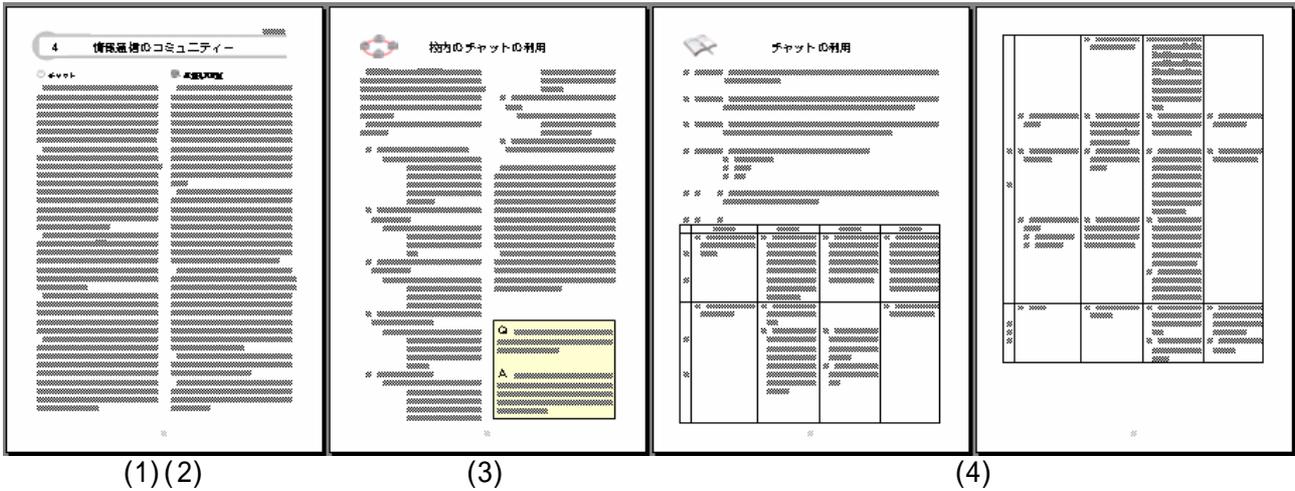


編集の方針



本書は、メディアリテラシーの指導と高等学校における情報モラルの指導に関して、教職員向けの資料として編集しました。

メディアリテラシーの指導に関しては、その考え方と小学校、中学校、高等学校の指導事例を掲載しました。これらの指導事例は、他校種においても活用できるものとなっています。

情報モラルの指導に関しては、16の項目に分け、それぞれを読み切りの形式として、4ページにまとめています。

項目の配列については、順序に意味や前後に関連性をもたせたものではありません。授業等で活用する際は、年間の授業実施計画等に合わせ、必要な時期に、必要な項目を実施するようお願いします。

各項目については、次の方針に基づき編集しています。

(1) 表題

各項目の表題は、項目全体で何を伝えたいかが分かるように配慮しました。表題の右上は、その項目で扱う情報モラルのキーワードを示しています。

(2) 情報社会の「光」と「影」

各項目の1ページは、その項目に関して情報社会における利便性と危険性を解説しました。それぞれの小項目のフェイスマーク（顔文字）の意味は、次のとおりです。

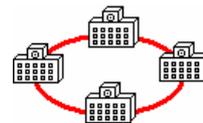
(^^) 情報社会の「光」の側面

(T-T) 情報社会の「影」の側面

(3) 学校情報ネットワークの解説

情報モラルの指導に関する各項目の2ページは、項目によっては一般的な内容の場合もありますが、主に府学校情報ネットワークについての技術的な解説のページです。学校情報ネットワークの機器やソフトウェアの活用の仕方やコラムとしてQ&Aなどをまとめました。

表題には次のアイコン（絵文字）がついています。



(4) 学習指導案

各項目の3～4ページは、その項目の内容に沿った授業を行う際の学習指導案です。学習指導案は、50分（1単位時間）の授業を想定して作成していますが、実習と合わせた場合、2単位時間以上が必要となるものもあります。

また、「1本時の位置」には、指導案の内容がどのような時期に実施するのが適当かについて、参考として記述しています。

表題には次のアイコンがついています。

